

中学生・高校生の職場体験

至誠第二保育園

職場体験は、近隣の中学校・高校から体験活動の一環として依頼が入り、対応が可能かお返事をさしあげてから、日程調整に入ります。クラス数などで受入れられる人数は限られますが、地域の資源を活用して頂く機会となるので地域貢献としてできる限り協力しています。

生徒の皆さんには、地域の保育園はどのようなところなのか理解を深めてもらったり、誰かの役に立つという体験のステップの場であったり、将来のお仕事の選択肢など、活動を通じて何か感じる事があればと願いながら受入れています。

来園する生徒さんの中には、卒園生だったり、在籍していたという生徒さんもいて、受入れる側にもちょっとしたサプライズが楽しみでもあります。

体験活動に入る前に、オリエンテーションを行います。持ち物や、気をつけてもらいたいこと、質問などを確認します。保育のポイントも伝授します。子どもの目線に合わせて話すことや、子どもが困っていたら、すぐに手伝うのではなく、「お手伝いしましょうか」と聞いて子どもの意志を尊重するなど、すぐに役立つ事を伝えています。

活動当日は、緊張した面持ちで来園しますが、子ども達が嬉しそうに話しかけたり、手を引いて遊びに誘ったりして徐々に溶け込んでいきます。室内や戸外で遊びを一緒に行い、時には着替えの介助なども行います。給食後は、子ども達は午睡をするので、その間は、環境整備を手伝ってもらいます。保育士は、子ども達と遊ぶだけではなく、書類を書いたり、次の活動の準備をしたり、色々な仕事があることを生徒さん達は気づくことでしょう。

緊張しながら頑張っていた生徒さんも、帰る時には、子ども達の笑顔に名残惜しそうにしています。

後日、感想文を頂きますが、その中には、「うまく関われるか心配だったけれど子ども達と遊べて楽しかった」とか、「子どもの安全や命を守るのは大変だと感じた」、「将来は人と関わる仕事がしたい」など体験活動を通して得られたことが綴られています。「子ども達が自分の思うようにならず困った」という感想もありますが、体験を通して湧き出る自分の気持ちに向き合うことも大切なのだと思います。

日々の中であたり前に感じていたことでも、新鮮に受止める生徒さんの言葉に気づきをもらいます。

地域で支え合い、それから視野がどんどん広がっていくことを想像すると、職場体験の小さな一歩に夢が広がります。



職場体験を通じて、保育士の道に進んでくれたら嬉しいですね。



利用者・地域の方・困っている人とのつながり

至誠あずま保育園

【大切にしていること】

保育園は利用者にとって居心地の良い場を提供できるよう努めているが、地域の方々の理解と協力を得て存在している。この点を職員と理解し合いながら、保育園利用者以外の地域の方との交流も深め、助け合える関係を築き上げ、地域に根差した保育園の継続を大切にしている。

一時保育事業の取り組み

- ・ 急な利用でも利用しやすいように、空きがあれば当日の朝でも受け入れ、アレルギー児や配慮が必要なお子さんも受け入れられるような体制を組んでいる。

※フードパントリー取扱事業所 ※個人への食品提供を行う活動

- ・ 単に食品をお渡しするだけでなく、悩みや話を聴き、気持ちを受け止める役割を心掛けている。場合によっては、関係機関に繋げる。

高齢者見守り事業所登録

- ・ 登録していることで、職員の認識が向上し、実際に園舎前で見かけた高齢者に声を掛け、警察に連絡したところ、捜索願が出されていて、無事保護されたケースもあった。

自治会への加入

- ・ 夏祭りの模擬店に、園として出店し、卒園生や地域の方々に喜ばれている。新年のどんど焼きでは、園長が会場の手伝いをしながら、地域の方々との関わりを深めている。

地域の風景の一部として

- ・ 小学生の授業の一環で、日野市の良いところ探しの際には、園舎前のプランターに咲く花々をきれいと感じた子ども達がインタビューで来園した。また、道行く人から「心が和む」と声を掛けてもらっている。

【保育に与える影響】

- ・ 日常の何気ない取り組みが、人から喜ばれ、新たな繋がりになり、子どもや職員の人としての成長に繋がっている。
- ・ 地域と関わることで、地域の方が子ども達を気に掛けてくれるようになり、安心・安全が更に強化されている。
- ・ 地域の方に保育園の活動に理解を得られ、円滑な保育が出来ている。



保育園として何が出来るか、職員みんなで考えて、無理なく地域との繋がりを深めたいですね

入園前に保育園を知ろう

ひよこハウス多摩平

【体験保育】

1年間の実績 参加者0歳児9組・1歳児2組
体験に来た方のうち翌年度入園が決定した方…4名

【方法】

0歳児…1日2組・計6日間 1歳児…1日2組・計2日間の日程で『広報ひの』に掲載し参加者を募集。施設見学に来た方へ体験保育についても案内。

【内容】

新型コロナ流行前は、保護者と共に対象クラスに入り午前中の活動から給食を一緒に食べるまでの体験を行っていたが、コロナ以降は、園庭より朝の活動の様子を見学し、対象クラスが園庭遊びをするところに合流するという形をとっている。
体験に来た保護者の育児相談にも応じるよう、心掛けている。

【施設見学】

1年間の実績 73組
見学に来た方のうち翌年度入園が決定した方…8名

園行事が入っていない平日は随時受付（月曜日9時半・火～金曜日9時）
感染症対策のため短時間で園庭からの見学のみという条件ではあるが、質問をたくさん用意して来園する方も多いため、できる限り質問や相談に応じ、保護者の気持ちに寄り添った対応をするよう配慮している。また、終了時に、「今後も質問や相談等があれば気軽に園へお電話ください」と声を掛け、オープンな雰囲気を中心掛けている。



【地域交流の効果・参加者の声】

- ・園生活を体験したり施設を見学し園の様子を知ることによって、入園希望につながることができている。
- ・コロナ禍で園の情報を得る機会が激減している中、このような地域活動をしてもらって大変ありがたい。



入園前に体験保育や施設見学が気軽に出来ると、不安や悩みが解消されますね。参加者の声からも、ニーズが高いことが伺えます。

地域交流

たかはた北保育園

【目的・ねらい】

保育園は子育て支援の大きな役割を担っている。たかはた北保育園を地域の方々に知ってもらうこと、他、保育園に足を運んでもらい、子育ての悩みの相談を出来る場を提供し、イベントに参加してもらうことで活動の場を広げ、価値観やコミュニケーションの幅を広げてもらう。

【手形アート】

子どもの手形に目や耳を描き、
可愛い動物の作品を作る。



簡単に可愛い作品を作
ることができました。



家ではなかなか出来な
かったので、参加して良
かったです。



写真を自分で撮影で
きただけでなく、大判
印刷でもらえてあり
がたかったです。

【寝相アート】

季節のイベントの寝相アートの撮影会を行う。



【ヘアアレンジ】

子ども専門美容室の方に来ていただき、
プロの美容師に前髪の切り方や髪の結び方を
教えてもらう。



子どもを楽しめつつ、教
えて欲しいことを教えても
らえて、大満足でした。



【参加した地域の保護者の声】



- ・保育士さんに育児相談も出来て良かった。
- ・育児で疲れていたのに、気分転換になり、参加して良かった。
- ・保育園の様子が分かった。保育園選びの参考にもなった。
- ・同じくらいの年齢の子どもを持つ保護者の方と仲良くなれ、育児の悩み事を話せ、ストレス解消になった。

【考察】

イベントを通して気分転換をしたり、育児の相談をする場を作ったりすること、参加している保護者はいつも笑顔で帰って行く。なかなか地域のコミュニティに参加出来なかったり、近所に同じ年の子どもを持つ保護者の友だちがいなかったりする方にとっての心の支えに少しでもなっていきたいと思う。

また、一緒に参加した保護者同士で育児の話をする姿も見られ、みんな同じ悩みを持っていると感じる保護者も多いようだ。

今後も参加してみたいと思ってもらえるイベントを企画していきたいと思う。

地域の方に、イベントを通
して保育園を知ってもら
ったり、育児相談の場
にしたりするなどの工夫は、
育児支援になりますね。



保育園ってどんなところ？

栄光多摩平中央保育園

保育園で、子どもたちがどのような遊びを楽しんでいるのかを知ってもらうため、園庭開放・室内遊び・園内行事に親子で参加してもらう。子どもたちの様子を見たり、一緒に遊ぶ経験を通して集団での遊びを知って頂いたりする機会を作り、参加してもらった後に子育て相談（保育士・栄養士・看護師）を行っている。

《方法》

ポスター作成・「広報ひの」にてお知らせをしたり、園見学に来た方や、近隣の未就学児・家庭児にも声がけをしたりしている。



戸外：自由遊び
(砂場遊びを楽しむ)



室内：自由遊び
(年齢に合わせた玩具
遊びを楽しむ)

《状況》

保育園でどんな遊びをしているのかな？園庭にはどんな遊具があるのかな？戸外ではどんな遊びを行っているのかな？と興味を持つ保護者も多い。近隣公園の遊具は、乳幼児用に作られていないこともあり、事故・怪我が怖くて遊ばせにくいという話も聞いた。その為、園内や園庭で子どもの目線で遊ぶ事が出来る事が喜ばれている。

《効果》

園内見学や話だけでは保育園の様子が伝わりにくいのですが、実際の遊び体験から保育園への興味が広がり安心して入園する事に繋がっている。

また、保育体験後に子育ての情報交換や相談する機会が作られることも家庭児への子育て支援や地域交流へと繋がっている。

引き続き、保育園でどんな遊びを行っているのか情報発信を行っていきたいと思う。



地域の方に園を知ってもらい、情報交換や子育て相談の場、また、安全な遊び場としての活用をしてもらうことが、地域の子育て支援につながっています。

保護者支援

みなみだいら保育園

保護者支援っていうけれど、
信頼関係を築いていない
と、何もできませんよね・・・

信頼関係を築くには、
どうしたら良いの？



マイナス面を伝える
時には、良いこ
とを伝えてから、改
善してほしいこと
も伝えるなど、サン
ドイッチ方式で話
すようにしている。

気持ちの良い挨拶をしたり、保
護者の体調を気づかうような
言葉がけをしたりする。

お迎えが遅いなど、
なかなか会えない
保護者には、担任
以外の保育者も積
極的に声を掛け、職
員みんなで様子を
伝えるようにする。



懇談会もアイデアいっぱい

- ★1日の生活の流れを紙芝居で伝えている。
- ★自己紹介も名前呼び合って、和やかな雰囲気。
- ★我が子あてクイズで参加型の懇談会を実施。
- ★お題を事前に伝え、話しづらい方も話せる工夫をする。

会えた保護者にはなるべく話
しかけて、日々の関係性を積
んでいく。子どもの面白いエピソードや頑張っていたことは、
保護者も興味を持ってくれる。



保護者との関係が出来ると、難しいことを伝える時も、耳を傾けてくれる。保護者も担任も話がしやすくなり、グッと関係が近くなる。

【考察】

保護者と保育園の信頼関係が築けていれば保護者に寄り添った支援につなげることもできる。子どもの育ちを共有するだけではなく、保護者自身の不安な気持ち、悩みごとを相談してくるようになり、関係もより良くなる。向かい合うことは子どもにとっても、保護者にもベストな環境と考えられる。



日頃から、保護者とのコミュニケーションを大切に、色々な方法で子どもの様子を伝えていこうにしましょう。

保護者の気持ちに寄り添いながら

【子どもの様子】

もぐさ台保育園

乳児クラスの頃の A ちゃん

- ・人見知りて臆病
- ・行事の練習から緊張の面持ち
- ・本番は泣いてしまい、動けずにいた

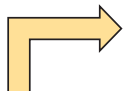


3 歳児クラスになると

- ・色々な経験を重ねて自信がついたよ
- ・行事の練習にも笑顔で取り組み楽しそう

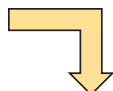
そして迎えた3歳児クラスの運動会当日・・・

途中から涙がこぼれてしまい、保護者はがっかりした様子……。担任も、本児の成長ぶりに、〈当日は泣いてしまうかも〉という考えすら浮かばず、配慮してあげられなかったことを反省しました。次の発表会に向けて本人に無理のないように、でもやりたい気持ちもしっかり応援していこうと思いました。



発表会当日の A ちゃん

- ・泣きながら登園
- ・本番の舞台でも涙が・・・



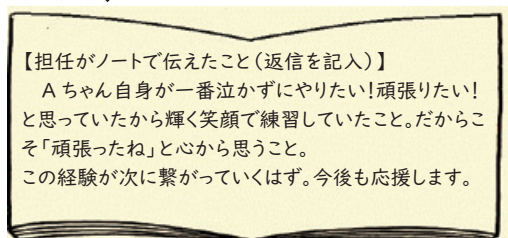
発表会までの A ちゃん

- ・希望した役について嬉しそう。
- ・笑顔で練習に参加し、台詞も大きな声で言えます。

☆保護者へは、日々の送迎時に練習の様子を伝え、楽しく取り組んでいること、やりたい気持ちがあること、同時に当日は緊張で崩れてしまう可能性があることなどについて話をしていました。



後日、保護者がノートに感想を書いてくれました。



【ノートでのやり取り後、保護者から・・・】

本人のプレッシャーにならないように接してきたつもりだったけれど、プレッシャーになってしまったと反省し、家に帰り落ち込んだこと、互いに「ごめんね」を言い合って気持ちが切なくなったこと、録画した当日の様子を本人も観たがらず、母も観る気持ちになれなかったことを話してくれました。でも担任からのノートの返信を読んで気持ちが落ち着き、その夜に録画した当日の劇を観ることができたそうです。

【考察】

子ども達に寄り添って気持ちを支えていくと同時に、保護者の気持ちにも寄り添い、想いを巡らせ、焦らず、諦めず、信頼関係を築いていこうとする姿勢が保護者支援に繋がるのだと感じています。



行事はゴールではありません。それまでの過程、そしてこれからの過程を丁寧に支え、子どもはもちろん、保護者の気持ちにも寄り添って行きましょう。

保護者に寄り添う保育園

あおぞら東豊田保育園旭が丘分園

【大切にしていること】

- ・保護者の家庭環境を職員みんなで共有し、いつでも相談が出来る雰囲気づくりを心掛ける
- ・子ども達と職員を大切に思う気持ちを持つ

保育の様子

- ・0歳児から5歳児までの子ども達が、一緒に遊んだり生活をしたりして、共に成長している。
- ・少人数の園なので、職員、子ども達みんなが家族のように生活している。
- ・子ども達一人ひとりの個性を大切にしている。

子ども達の成長の様子

- ・子どもの個性を尊重し、家庭環境も配慮しながら保育をしているので、実際に子ども達は、相手に寄り添える包容力や共感性、思いやりの気持ちの芽生えがみられる。
- ・友達の遊ぶ姿を見て、興味や関心が広がっている。

保護者の気持ちに寄り添う

- ・子育てに不安を持つ保護者に寄り添い、いつでも相談できるようにしている。
- ・送迎の際に、「子どもの良いところ、楽しいエピソード」など、ひと声掛けるよう職員みんなが心掛けている。

保育士から見て思うこと

- ・職員の人間関係も大切だと思う。少人数の園なので、コミュニケーションを大切にしている。
- ・日頃から、保育の悩みなどをみんなで話し合っていて、共有できているので連帯感がある。
- ・気軽に育児相談ができるような園の仕組みがあれば良いと思う。
- ・保護者からの質問に答えを窮していた時に、他の先生が助け舟を出してくれ、とても助かった。



園全体で保護者が安心して相談できる関係を築くことが必要です。身近に学べて頼れる先輩保育者がいると、仕事も楽しくなりますね。

保護者会での意見の共有

あおぞら東豊田保育園

トイレトレーニング

トイレトレーニングを家でまだできていなくて、始めるタイミングがよくわからないのですが…。



おしっこが出たことを知らせてくれたり、排尿感覚が1時間位空くのを目安にしたりして始めるといいですよ!〇〇くんはオマルで成功している時もありますよ。

うちもうまく進まなくて…
連れて行くタイミングはありますか?



朝起きた時、お昼寝から起きた時、お風呂の前などがおすすめです。トイレやオマルに座れただけでもたくさん褒めてあげましょう!

家で挑戦してみますね!



後日…

先生のアドバイスしてくれたタイミングでトイレに座らせたら家で初めて成功しました!

リフレッシュ

仕事に育児に家事にと大忙しのお母さんたちが実践しているリフレッシュ方法を共有しませんか?



子どもに隠れて甘い物を食べています!



頑張らない日と決めて家事の手抜きをしています!

友人とランチや、ひとりでモーニングカフェをしています!



保護者会では、保育園での様子を伝えるとともに保護者同士の交流も意識しながら、悩みを相談や共有・解決をする等、情報交換が出来る場にしていきたいと考えています。



保護者同士で意見交換や悩みの共有をする事で、子育てのヒントになったり、気持ちが楽になったりしますね。保育園がそんな場であると嬉しいですね。

保護者同士のつながりを保育園が手伝い

万願寺保育園

【保護者の思い】

仕事が忙しい、保護者の方とつながりをもちたくても、もてない保護者がいると思われる。



【背景】

日常の挨拶やつながりが希薄になったことと、昨今の核家族化、近所付き合いの減少の観点からも子育ての孤立化がみられる。

そこで！

《一緒に遊ぶ会を開催♪》

孤立を防ぎ、保護者と保育士、保護者と保護者のつながりから子育ての楽しさを感じてもらうようにした。



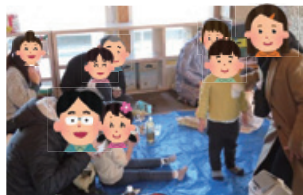
保護者の笑顔、会話が生まれるように♪



子ども同士仲良しの保護者を保育士が仲介して園でどのように遊んでいるかなどお話をした。



保護者参加のジェスチャーゲームを取り入れた。



同じ空間で楽しいお弁当タイムを過ごした。



連絡先を交換して、休日一緒に遊びました。

仲良しの友達や保護者と会えて良かった。



【考察】

最初は声を掛け合う様子があまりなかったが、保育士が間に入ると会話が広がり、その後保育士を通さなくても保護者同士話をする姿がみられた。

当日参加できなかった保護者には会の様子を伝え、次の機会に期待が持てるよう声を掛けた。このような保護者の姿や保護者からいただいた言葉からもつながりを求める保護者がいることが分かった。

またその後、5歳児保護者より、「以前は保護者参加行事を通して連絡先を交換してつながるきっかけをもてよかった」と話していたことから、保護者支援は重要な役割であると感じた。

懇談会で一緒に遊ぶ機会を作ったり、他のクラスでもファミリーデーと称して親子で運動遊びを楽しむ会を企画、実践して、その後も保護者支援を継続している。



核家族化や子育ての孤立化を解消するために、保育園を通して保護者同士が支え合うことが大切です。それによって、保育園の理解につながります。

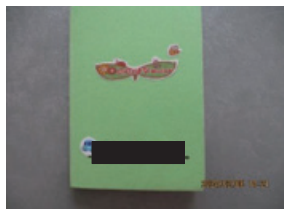
手作りの連絡帳

ののはな保育園

【手作りに込めた思い】

- ・自由記載で書きやすいようにした。項目があると埋めなくてはいけない意識になるので、項目や枠にとらわれず、保護者も負担にならないように書けるとよい。
- ・後々読み返して、成長記録の一つとなれば嬉しい。
- ・実際大切に保管しているうえに、「見直すことがある」という保護者が多い。

【カバーは開園当初から変わらず、
手作りしている。】



【中面に体温表を張っている】



【A6 のキャンパスノートを使用
している】



★自由記載の良さ

- ・枠などの制限がないので、伝えたいことをしっかりと記入できる。保護者も自由に書いている。直筆の温かさがある。

★自由記載のデメリット

- ・項目欄がないため家庭からの情報（睡眠・排便・食事）が少ない。ぱっと見て分かりづらく、過去の様子が探しにくい。
- ・沢山書けるので時間がかかってしまう。

【記載内容】

- ・ 今日の様子
- ・ 給食
- ・ 午後おやつ
- ・ 排便
- ・ 午睡時間



【考察】

連絡帳は、保護者と情報交換を行うためのツールで、保護者とのコミュニケーションや信頼関係の構築に欠かせない。家庭からの情報が連絡帳で不十分な場合は口頭で確認しているので、コミュニケーションにも繋がっている。

システム化が進みデジタルでの連絡帳のやり取りが多くなっていく中、時代のニーズは考慮する必要があるが、手作りに込める思いは大切にしていきたい。

～卒園児の保護者から

寄せられた意見～

- ・大切に保管しており、時々読み返すと、当時の様子が目に浮かんでくる。
- ・細かく書かれていて保育園での様子が伝わった。
- ・成長の過程が思い出せる。



デジタル化が進む中、手作りの温かさは大切ですね。手作りに込める思いは忘れずにいたいですね。

